

附録「教員採用試験の小論文で必ず押さえてたいキーワード」

教員採用試験では、ほぼ確実に小論文がありますが、苦手としている人がとても多いです。教員採用試験でありがちな失敗として「問題文のキーワードとなる言葉の意味を理解できていない」というパターンがあります。

問題例

「子どもたちに、主体的に学ぶ姿勢を身につけさせるためにどのように取り組んでいくか」

問題例

「子どもたちに、規範意識を身につけさせるためにどのように指導していくべきか」

このような出題で、ポイントとなる「主体的」「規範意識」といった言葉の意味を正確に理解できていない人が多いです。

それぞれの言葉の意味を正確に説明できますか？辞書的な意味とともに、教育現場でどういう使い方をするのか具体的な例も示してください。

こうした言葉は分かっているようでいて、いざ説明しようとするとな案外難しいものです。答案を指導していると、こういうキーワードを理解しきれないままに書いている人がとても多いです。例えば「主体的に学ぶ」というテーマなのに、「子どもたちの理解力を見極めながら適切な進度で授業を進めていく」という方向になっている答案などです。主体的とは「自分の意志や判断によって行動する」という意味ですから、この問題の趣旨は「どうすれば子どもたちの『自分から学ぼう』という姿勢を育てられるか、そのための取り組みを述べよ」ということになります。従って、「子どもたちの理解力を見極めながら適切な進度で授業を進めていく」ということとは全く別の話になります。言葉の意味をあいまいにしたまま書いて失敗する答案がとても多いです。

主体性、規範意識、道徳性、自己肯定感、創造性…教員試験でよく出るこれらのキーワードの意味を正確に説明できますか？

下記に、頻出するキーワードの意味と具体例をまとめていますので、是非確認してください。

=====サンプル版はここまで=====